

ホッととどろく愛

ここあ



このコーナーは、市内で福祉活動をされている方や団体にスポットを当てたインタビューコーナーです。

今回は市社協の日常生活自立支援事業茅ヶ崎あんしんセンターで生活支援員として登録していただいている方の中から、守分さん、原田さんのお二人にお話を伺いました。

What is 生活支援員?

茅ヶ崎あんしんセンターでは、判断能力が不十分な方の福祉サービスなどの手続きや、生活費の出し入れなどの日常的な金銭管理の支援を行っています。契約内容に沿って、定期的に訪問し、生活の様子をうかがったり、実際に預金の出し入れの支援を行っているのが、生活支援員の皆さんです。

生活支援員になつたきっかけは何ですか?

原田さん…以前は県社協のアルバイトや、障害福祉事業所の事務の仕事、ボランティアなどをしていました。福祉の資格は持っていませんが、市民後見人や生活支援員の仕事ができたらと思って始めました。



優しい笑顔が素敵なお2人です。

守分さん…大学で社会福祉を学び、子どもが大きくなった後、40歳を過ぎてから障害者施設で働きました。リタイアした後、この仕事を始めて10年が経ちます。生活支援員は有償ボランティアという感覚ですが、ボランティアとはまた責任の持ち方が違い、意識の違い、立場的な違いがあるのが良いと思っています。

利用者の方とのコミュニケーションはどのように取っていますか?

守分さん…初対面から会う回数を重ねると、信頼関係が生まれます。あまり深くは踏み込

具体的にはどんな支援をされていますか?

守分さん…通販などで色々買ってしまう人も多いです。残高を見せながら、収支の書類も作って話をする、意外と分かってくれますし、それをフォローするのが私たちの仕事だと思っています。あんしんセンターの職員には必ず相談して指示を仰いでいます。



必ず活動を報告します。

印象に残っているエピソードなどはありますか?

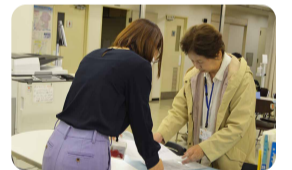
原田さん…スマホを3つくらい契約させられてしまったり、カードでお金を沢山使ってしまった方もいます。「魔法のカードじゃないんだから」と伝え、少しずつそういうことを減らしています。近くなら、大きい買い物と一緒に見たりもします。家庭の事情にはあまり深くは入れませんが、入れるところと線引きをしています。

まず、お節介おばさんにはならないようにしています。経験値や見極めが大切です。あとは、こちらの思いを押し付けるのは違うと思うので、その人にとっての価値観は「そうだよね」と認めて、尊重するようにしています。

原田さん…障害の方は慣れていたので、認知症の方の支援は初めてでした。一緒にハロンコを探したり、お金を探したり、その方に勉強させてもらったと思っています。慣れるとだんだんお互いに冗談を言ったりできるようなこともあります。

糖尿病など予備軍の病気を持っている方も多いため、顔色などもよく観察するようにしています。

原田さん…認知症の方に、どうしよう、どうしようってするうちに泣かれたことがあります。忘れていく記憶が多くなって不安で泣かれたと思いますが、いざそれは私たちもそうなるのかな。



大事な書類の確認です。

守分さん…日々の支援をしていると忘れがちですが、本来は自立が目的だと思っています。支援を卒業できた方がいて、やった！っていう感じで感動しました。

やりがいや大変なことはありますか?

守分さん…やめたいと思ったことはなく、社会参加できるのが大きいんです。一週間に1回市社協に来るといのが軸になってスケジュールを調整しています。自己満足かもしれないですが、今までの知識を還元できると感じています。

原田さん…社会と関わってお金でもらえると思っています(笑)。障害者の方は本当に色々な方がいて、言わなければいけないことはありますが、慎重にやっています。

守分さん…大変とは思っていないし、利用者の方との関わりが嬉しすぎて、大変さをクリアしてくれるのかな。支援員としてお金を届けるという、生活の一部から色々なことを考えるなければいけないですが、他の色々な支援機関との横のつながりを上手にやりながらです。

インタビューを終えて

お二人がこれまでの人生経験や思いから、様々な配慮をしながら利用者の方を支えてくださっていることが伝わってきました。あんしんセンターでは、このように判断能力が不十分な方の意思決定を大事にして、本人らしい生活ができるよう支えています。あんしんセンターの事業については、ホームページをご覧ください。
市社協(あんしんセンター)
<http://www.shakyo-chigasaki.or.jp>

夏休みおやこ手話教室の案内

手話を通して若年層からの福祉との出会いを広げ、ボランティア活動参加へのきっかけとなることを目的として開催します。

◎簡単な自己紹介ができるようになります。

◎ボランティアさんと聴覚障がい者の方と一緒に楽しくやさしい手話を学びます!

- ▼とき 7月29日(月)から8月2日(金) 連続5日間
- ▼時間 10:00~11:30
- ▼ところ 茅ヶ崎市社会福祉協議会 B会議室(さがみ農協ビル2階)
- ▼定員 30名(先着順)
- ▼参加費 無料
- ▼受付 7月1日(月)9時~7月19日(金)17時まで
- ▼お申込み方法 ①お名前(ふりがな) ②〒住所 ③電話番号 ④学校名と学年 を明記のうえ、電話・メール・Googleフォームのいずれかにてお申込みください。
- ▼お申込・お問合せ 市社協(ボランティアセンター)
- ▼電話 (85)9650 (平日8:30~17:15 土日祝休み)
- ▼メール vc@shakyo-chigasaki.or.jp



感染症対策について

入室前の手指消毒、検温の実施(37.5度以上ある場合はご出席をお控えください)にご協力をお願いいたします。

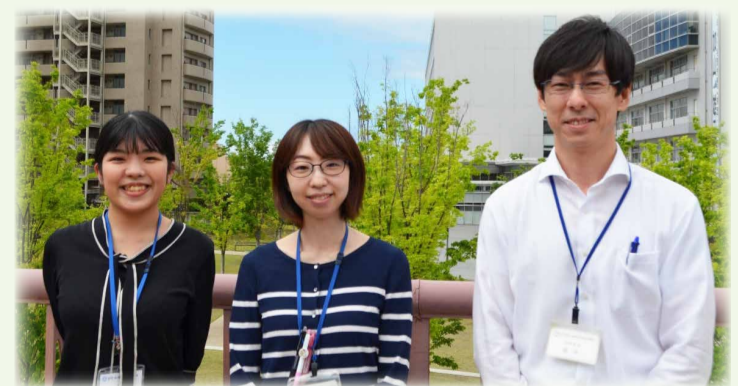
託児について

・2歳以上の未就学のお子さんを講座中お預かりします(応相談)
・7/19(金)までにご相談ください。



市社協(正規)職員大募集!

「地域福祉に取り組む熱い人材来たれ!」



募集職種: 一般事務(地域福祉)
募集人員: 若干名(令和6年10月1日採用)
※詳細は市社協ホームページをご覧ください。

